



アイデンティティフェデレーション BlueXP setup and administration

NetApp
September 02, 2025

目次

アイデンティティフェデレーション	1
BlueXP でアイデンティティフェデレーションを使用してシングルサインオンを有効にする	1
NetAppサポートサイトとのID連携	1
IDプロバイダとのフェデレーション接続を設定する	1
ドメイン検証	3
フェデレーション接続のメールドメインを確認する	3
フェデレーションを構成する	3
BlueXP をActive Directory フェデレーション サービス (AD FS) と連携させる	3
BlueXPと Microsoft Entra ID を連携させる	5
BlueXPをPingFederateで連携	7
SAML IDプロバイダとの連携	9
BlueXPでフェデレーションを管理する	11
フェデレーションを有効にする	11
検証済みのドメインを既存のフェデレーションに追加する	12
期限切れのフェデレーション接続の更新	12
既存のフェデレーションをテストする	12
フェデレーションを無効にする	13
フェデレーションを削除する	13
BlueXPにフェデレーションをインポートする	13

アイデンティティフェデレーション

BlueXP でアイデンティティフェデレーションを使用してシングルサインオンを有効にする

シングルサインオン（フェデレーション）は、ユーザーが企業の認証情報を使用してBlueXPにログインできるようにすることで、ログインプロセスを簡素化し、セキュリティを強化します。シングルサインオン（SSO）は、IDプロバイダ（IdP）またはNetAppサポートサイトから有効化できます。

必要な役割

組織管理者、フェデレーション管理者、フェデレーション閲覧者。 ["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

NetAppサポートサイトとのID連携

NetAppサポート サイトと連携すると、ユーザーは、NetAppサポート サイト、Active IQ Digital Advisor、およびNetAppサポート サイト アカウントに関連付けられているその他のアプリで使用するのと同じ資格情報を使用してログインし、BlueXP にアクセスできるようになります。フェデレーションを設定すると、NetAppサポート サイト アカウントを作成した新しいユーザーもBlueXPにアクセスできるようになります。



NetAppサポートサイトと連携する場合、企業の ID 管理プロバイダと連携することはできません。組織に最適なプロバイダをお選びください。

手順

1. ダウンロードして完了 ["ネットアップフェデレーションリクエストフォーム"](#)。
2. フォームに指定されたメールアドレスにフォームを送信します。

NetAppサポート チームがお客様のリクエストを確認し、処理します。

IDプロバイダとのフェデレーション接続を設定する

BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効にするには、アイデンティティプロバイダとのフェデレーション接続を設定します。このプロセスでは、アイデンティティプロバイダがNetAppをサービスプロバイダとして信頼するように設定し、BlueXPで接続を作成します。



以前にNetApp Cloud Central (BlueXPの外部アプリケーション) を使用してフェデレーションを構成していた場合は、BlueXP内でフェデレーションを管理できるように、BlueXP Federation ページを使用してフェデレーションをインポートする必要があります。 ["フェデレーションをインポートする方法を学びます。"](#)

サポートされているIDプロバイダ

NetApp は、フェデレーション用に次のプロトコルと ID プロバイダーをサポートしています。

プロトコル

- Security Assertion Markup Language (SAML) アイデンティティプロバイダ
- アクティブ ディレクトリ フェデレーション サービス (AD FS)

アイデンティティプロバイダー

- MicrosoftエントラID
- PingFederate

BlueXPワークフローとの連携

NetAppは、サービスプロバイダ主導（SP主導）のSSOのみをサポートしています。まず、NetAppをサービスプロバイダとして信頼するようにアイデンティティプロバイダを設定する必要があります。その後、BlueXPでアイデンティティプロバイダの設定を使用して接続を作成できます。

ご自身のメールドメイン、またはご自身が所有する別のドメインと連携できます。ご自身のメールドメインとは異なるドメインと連携するには、まずそのドメインの所有権を確認してください。

1

ドメインを確認する（メールドメインを使用していないとき）

メール ドメインとは異なるドメインとフェデレーションするには、そのドメインを所有していることを確認します。追加の手順なしで電子メールドメインを統合できます。

2

IdP を設定して、**NetApp** をサービス プロバイダーとして信頼する

新しいアプリケーションを作成し、ACS URL、エンティティ ID、その他の資格情報などの必要な情報を提供して、NetAppを信頼するように ID プロバイダーを構成します。サービス プロバイダー情報は ID プロバイダーによって異なるため、詳細については特定の ID プロバイダーのドキュメントを参照してください。この手順を完了するには、IdP 管理者と協力する必要があります。

3

BlueXPでフェデレーション接続を作成する

接続を作成するには、SAML メタデータ URL やファイルなど、ID プロバイダーから必要な情報を提供する必要があります。この情報は、BlueXPと ID プロバイダー間の信頼関係を確立するために使用されます。提供する情報は、使用している IdP によって異なります。たとえば、Microsoft Entra ID を使用している場合は、クライアント ID、シークレット、ドメインを指定する必要があります。

4

BlueXPでフェデレーションをテストする

フェデレーション接続を有効にする前にテストしてください。BlueXPのフェデレーション ページには、テスト ユーザーが正常に認証できることを確認できるテスト オプションが用意されています。テストが成功した場合は、接続を有効にできます。

5

BlueXPで接続を有効にする

接続を有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

開始するには、それぞれのプロトコルまたは IdP のトピックを確認してください。

- ["AD FSとのフェデレーション接続を設定する"](#)
- ["Microsoft Entra ID とのフェデレーション接続を設定する"](#)
- ["PingFederateでフェデレーション接続を設定する"](#)
- ["SAML ID プロバイダとのフェデレーション接続を設定する"](#)

ドメイン検証

フェデレーション接続のメールドメインを確認する

メールドメインとは異なるドメインと連携する場合は、まずそのドメインの所有権を確認する必要があります。連携には、確認済みのドメインのみを使用できます。

必要な役割

組織管理者またはフェデレーション管理者。 ["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

ドメインの検証には、ドメインのDNS設定にTXTレコードを追加することが必要です。このレコードは、ドメインの所有者であることを証明し、BlueXPがフェデレーションにおいてドメインを信頼できるようにするために使用されます。この手順を完了するには、IT管理者またはネットワーク管理者との調整が必要になる場合があります。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、> * IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. *新しいフェデレーションの構成*を選択します。
4. *ドメインの所有権を確認*を選択します。
5. 検証するドメインを入力し、「続行」を選択します。
6. 提供された TXT レコードをコピーします。
7. ドメインのDNS設定に移動し、ドメインのTXTレコードとして提供されたTXT値を設定してください。必要に応じて、IT管理者またはネットワーク管理者にご相談ください。
8. TXT レコードが追加されたら、BlueXPに戻り、「検証」を選択します。

フェデレーションを構成する

BlueXP をActive Directory フェデレーション サービス (AD FS) と連携させる

Active Directory フェデレーションサービス (AD FS) をBlueXPと連携させることで、BlueXPのシングルサインオン (SSO) を有効にできます。これにより、ユーザーは企業の認証情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

必要な役割

フェデレーションを作成および管理するには、組織管理者またはフェデレーション管理者が必要です。フェデレーション閲覧者はフェデレーションページを表示できます。 ["アクセス ロールの詳細について説明しま](#)

す。"



社内のIdPまたはNetAppサポートサイトと連携できます。NetAppNetApp、どちらか一方を選択することを推奨しており、両方を選択することは推奨していません。

NetAppは、サービスプロバイダ主導（SP主導）のSSOのみをサポートしています。まず、BlueXPをサービスプロバイダとして信頼するようにアイデンティティプロバイダを設定します。次に、アイデンティティプロバイダの設定を使用して、BlueXPで接続を作成します。

AD FS サーバーとのフェデレーションを設定することで、BlueXPのシングルサインオン (SSO) を有効にすることができます。このプロセスでは、AD FS でBlueXP をサービスプロバイダーとして信頼するように設定し、BlueXPで接続を作成します。

作業を開始する前に

- 管理者権限を持つIdPアカウントが必要です。IdP管理者と調整して手順を完了してください。
- 連携に使用するドメインを特定します。ご自身のメールドメイン、またはご自身で所有している別のドメインを使用できます。メールドメイン以外のドメインを使用する場合は、まずBlueXPでドメインを検証する必要があります。これは、以下の手順に従って行うことができます。"[BlueXPでドメインを認証する](#)"トピック。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、> * IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. *新しいフェデレーションの構成*を選択します。
4. ドメインの詳細を入力してください:
 - a. 検証済みドメインを使用するか、メールドメインを使用するかを選択します。メールドメインとは、ログインしているアカウントに関連付けられているドメインです。
 - b. 構成するフェデレーションの名前を入力します。
 - c. 検証済みのドメインを選択する場合は、リストからドメインを選択します。
5. 「* 次へ *」を選択します。
6. 接続方法として、[プロトコル] を選択し、[**Active Directory** フェデレーション サービス (**AD FS**)] を選択します。
7. 「* 次へ *」を選択します。
8. AD FS サーバーに証明書利用者信頼を作成します。PowerShellを使用するか、AD FS サーバー上で手動で構成できます。証明書利用者信頼の作成方法の詳細については、AD FS のドキュメントを参照してください。
 - a. 次のスクリプトを使用して PowerShell を使用して信頼を作成します。

```
(new-object Net.WebClient -property @{Encoding = [Text.Encoding]
::UTF8}).DownloadString("https://raw.githubusercontent.com/auth0/AD FS-
auth0/master/AD FS.ps1") | iex
AddRelyingParty "urn:auth0:netapp-cloud-account" "https://netapp-
cloud-account.auth0.com/login/callback"
```

b. または、AD FS 管理コンソールで手動で信頼関係を作成することもできます。信頼関係を作成する際は、以下のBlueXP値を使用してください。

- 信頼信頼識別子を作成するときは、**YOUR_TENANT** 値を使用します。netapp-cloud-account
- **WS-Federation** のサポートを有効にする を選択した場合は、**YOUR_AUTH0_DOMAIN** 値を使用します。netapp-cloud-account.auth0.com

c. 信頼関係を作成したら、AD FS サーバーからメタデータ URL をコピーするか、フェデレーション メタデータ ファイルをダウンロードしてください。BlueXPで接続を完了するには、この URL またはファイルが必要になります。

NetApp、メタデータ URL を使用してBlueXP が最新の AD FS 構成を自動的に取得できるようにすることをお勧めします。フェデレーションメタデータファイルをダウンロードした場合は、AD FS構成に変更があるたびにBlueXPで手動で更新する必要があります。

9. BlueXPに戻り、[次へ] を選択して接続を作成します。

10. AD FS との接続を作成します。

a. 前の手順で AD FS サーバーからコピーした **AD FS URL** を入力するか、AD FS サーバーからダウンロードしたフェデレーション メタデータ ファイルをアップロードします。

11. *接続を作成*を選択します。接続の作成には数秒かかる場合があります。

12. 「*次へ*」を選択します。

13. 接続をテストするには、「接続テスト」を選択してください。IdPサーバーのログインページに移動します。IdPの認証情報でログインしてテストを完了し、BlueXPに戻って接続を有効にしてください。

14. 「*次へ*」を選択します。

15. *フェデレーションの有効化*ページでフェデレーションの詳細を確認し、*フェデレーションの有効化*を選択します。

16. プロセスを完了するには、[完了] を選択します。

フェデレーションを有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

BlueXPと Microsoft Entra ID を連携させる

Microsoft Entra ID IdPプロバイダーと連携して、BlueXPのシングルサインオン (SSO) を有効にします。これにより、ユーザーは企業の認証情報を使用してログインできるようになります。

必要な役割

フェデレーションを作成および管理するには、組織管理者またはフェデレーション管理者が必要です。フェデ

レーション閲覧者はフェデレーションページを表示できます。"アクセス ロールの詳細について説明します。"



社内のIdPまたはNetAppサポートサイトと連携できます。NetAppNetApp、どちらか一方を選択することを推奨しており、両方を選択することは推奨していません。

NetAppは、サービスプロバイダ主導（SP主導）のSSOのみをサポートしています。まず、NetAppをサービスプロバイダとして信頼するようにアイデンティティプロバイダを設定する必要があります。その後、BlueXPでアイデンティティプロバイダの設定を使用して接続を作成できます。

BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効にするには、Microsoft Entra ID とのフェデレーション接続を設定します。このプロセスでは、Microsoft Entra ID を設定してBlueXP をサービスプロバイダーとして信頼し、BlueXPで接続を作成します。

作業を開始する前に

- 管理者権限を持つIdPアカウントが必要です。IdP管理者と調整して手順を完了してください。
- 連携に使用するドメインを特定します。ご自身のメールドメイン、またはご自身で所有している別のドメインを使用できます。メールドメイン以外のドメインを使用する場合は、まずBlueXPでドメインを検証する必要があります。これは、以下の手順に従って行うことができます。"BlueXPでドメインを認証する"トピック。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、> * IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. *新しいフェデレーションの構成*を選択します。

ドメインの詳細

1. ドメインの詳細を入力してください:
 - a. 検証済みドメインを使用するか、メールドメインを使用するかを選択します。メールドメインとは、ログインしているアカウントに関連付けられているドメインです。
 - b. 構成するフェデレーションの名前を入力します。
 - c. 検証済みのドメインを選択する場合は、リストからドメインを選択します。
2. 「* 次へ *」を選択します。

接続方法

1. 接続方法として、*プロバイダー*を選択し、*Microsoft Entra ID*を選択します。
2. 「* 次へ *」を選択します。

設定手順

1. NetAppをサービスプロバイダーとして信頼するようにMicrosoft Entra IDを設定してください。この手順はMicrosoft Entra IDサーバーで実行する必要があります。
 - a. BlueXP を信頼するために Microsoft Entra ID アプリを登録するときは、次の値を使用します。

- *リダイレクトURL*には、 <https://services.cloud.netapp.com>
- *返信URL*には、 <https://netapp-cloud-account.auth0.com/login/callback>

b. Microsoft Entra ID アプリのクライアントシークレットを作成します。フェデレーションを完了するには、クライアントID、クライアントシークレット、Entra ID ドメイン名を入力する必要があります。

2. BlueXPに戻り、[次へ] を選択して接続を作成します。

接続を作成

1. Microsoft Entra IDで接続を作成する
 - a. 前の手順で作成したクライアント ID とクライアント シークレットを入力します。
 - b. Microsoft Entra ID ドメイン名を入力します。
2. *接続を作成*を選択します。数秒で接続が作成されます。

接続をテストして有効にする

1. 「* 次へ *」を選択します。
2. 接続をテストするには、「接続テスト」を選択してください。IdPサーバーのログインページに移動します。IdPの認証情報でログインしてテストを完了し、BlueXPに戻って接続を有効にしてください。
3. 「* 次へ *」を選択します。
4. *フェデレーションの有効化*ページでフェデレーションの詳細を確認し、*フェデレーションの有効化*を選択します。
5. プロセスを完了するには、[完了] を選択します。

フェデレーションを有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

BlueXPをPingFederateで連携

PingFederate IdPプロバイダーと連携して、BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効にします。これにより、ユーザーは企業の認証情報を使用してログインできるようになります。

必要な役割

フェデレーションを作成および管理するには、組織管理者またはフェデレーション管理者が必要です。フェデレーション閲覧者はフェデレーションページを表示できます。 ["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)



社内のIdPまたはNetAppサポートサイトと連携できます。NetAppNetApp、どちらか一方を選択することを推奨しており、両方を選択することは推奨していません。

NetAppは、サービスプロバイダ主導（SP主導）のSSOのみをサポートしています。まず、NetAppをサービスプロバイダとして信頼するようにアイデンティティプロバイダを設定する必要があります。その後、BlueXPでアイデンティティプロバイダの設定を使用して接続を作成できます。

PingFederateとのフェデレーション接続を設定することで、BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効に

することができます。このプロセスでは、PingFederateサーバーをBlueXPをサービスプロバイダーとして信頼するように設定し、BlueXPで接続を作成します。

作業を開始する前に

- 管理者権限を持つIdPアカウントが必要です。IdP管理者と調整して手順を完了してください。
- 連携に使用するドメインを特定します。ご自身のメールドメイン、またはご自身で所有している別のドメインを使用できます。メールドメイン以外のドメインを使用する場合は、まずBlueXPでドメインを検証する必要があります。これは、以下の手順に従って行うことができます。"[BlueXPでドメインを認証する](#)"トピック。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します.
2. *Federation*タブを選択します。
3. *新しいフェデレーションの構成*を選択します。
4. ドメインの詳細を入力してください:
 - a. 検証済みドメインを使用するか、メールドメインを使用するかを選択します。メールドメインとは、ログインしているアカウントに関連付けられているドメインです。
 - b. 構成するフェデレーションの名前を入力します。
 - c. 検証済みのドメインを選択する場合は、リストからドメインを選択します。
5. 「* 次へ *」を選択します。
6. 接続方法として、*プロバイダー*を選択し、次に*PingFederate*を選択します。
7. 「* 次へ *」を選択します。
8. PingFederateサーバーを設定して、NetAppをサービスプロバイダーとして信頼するようにします。この手順はPingFederateサーバー上で実行する必要があります。
 - a. PingFederate がBlueXP を信頼するように構成する場合は、次の値を使用します。
 - *返信URL*または*アサーションコンシューマーサービス (ACS) URL*の場合は、<https://netapp-cloud-account.auth0.com/login/callback>
 - *ログアウトURL*には、<https://netapp-cloud-account.auth0.com/logout>
 - *オーディエンス/エンティティID*には、`urn:auth0:netapp-cloud-account:<fed-domain-name-saml> <fed-domain-name-pingfederate>`はフェデレーションのドメイン名です。例えば、ドメインが `example.com` `オーディエンス/エンティティID`は次のようになります。
`urn:auth0:netappcloud-account:fed-example-com-pingfederate`。
 - b. PingFederateサーバーのURLをコピーしてください。BlueXPで接続を作成するときにこのURLが必要になります。
 - c. PingFederateサーバーからX.509証明書をダウンロードしてください。証明書はBase64エンコードされたPEM形式 (.pem、.cert、.cer) である必要があります。
9. BlueXPに戻り、[次へ]を選択して接続を作成します。
10. PingFederateで接続を作成する
 - a. 前の手順でコピーした PingFederate サーバーの URL を入力します。
 - b. X.509署名証明書をアップロードしてください。証明書はPEM、CER、またはCRT形式である必要が

あります。

11. *接続を作成*を選択します。数秒で接続が作成されます。
12. 「*次へ*」を選択します。
13. 接続をテストするには、「接続テスト」を選択してください。IdPサーバーのログインページに移動します。IdPの認証情報でログインしてテストを完了し、BlueXPに戻って接続を有効にしてください。
14. 「*次へ*」を選択します。
15. *フェデレーションの有効化*ページでフェデレーションの詳細を確認し、*フェデレーションの有効化*を選択します。
16. プロセスを完了するには、[完了]を選択します。

フェデレーションを有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

SAML IDプロバイダとの連携

SAML 2.0 IdPプロバイダーと連携して、BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効にします。これにより、ユーザーは企業の認証情報を使用してログインできるようになります。

必要な役割

組織管理者。 ["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)



社内IdPまたはNetAppサポートサイトのいずれかと連携できます。両方と連携することはできません。

NetAppは、サービスプロバイダ主導（SP主導）のSSOのみをサポートしています。まず、NetAppをサービスプロバイダとして信頼するようにアイデンティティプロバイダを設定する必要があります。その後、BlueXPでアイデンティティプロバイダの設定を使用して接続を作成できます。

BlueXPのシングルサインオン（SSO）を有効にするには、SAML 2.0プロバイダとのフェデレーション接続を設定します。このプロセスでは、プロバイダがNetAppをサービスプロバイダとして信頼するように設定し、BlueXPで接続を作成します。

作業を開始する前に

- 管理者権限を持つIdPアカウントが必要です。IdP管理者と調整して手順を完了してください。
- 連携に使用するドメインを特定します。ご自身のメールドメイン、またはご自身で所有している別のドメインを使用できます。メールドメイン以外のドメインを使用する場合は、まずBlueXPでドメインを検証する必要があります。これは、以下の手順に従って行うことができます。 ["BlueXPでドメインを認証する"](#)トピック。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、> * IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. *新しいフェデレーションの構成*を選択します。
4. ドメインの詳細を入力してください:

- a. 検証済みドメインを使用するか、メールドメインを使用するかを選択します。メールドメインとは、ログインしているアカウントに関連付けられているドメインです。
 - b. 構成するフェデレーションの名前を入力します。
 - c. 検証済みのドメインを選択する場合は、リストからドメインを選択します。
5. 「* 次へ *」を選択します。
 6. 接続方法として、*プロトコル*を選択し、*SAML ID プロバイダー*を選択します。
 7. 「* 次へ *」を選択します。
 8. SAMLアイデンティティプロバイダを設定して、NetAppをサービスプロバイダとして信頼するようにします。この手順はSAMLプロバイダサーバーで実行する必要があります。
 - a. IdPに属性があることを確認する`email`ユーザーのメールアドレスを設定します。これはBlueXPがユーザーを正しく識別するために必要です。

```
<saml:AttributeStatement
  xmlns:x500="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:profiles:attribute:X500"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <saml:Attribute Name="email"
    NameFormat="urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:X509SubjectName">
    <saml:AttributeValue xsi:type="xs:string">
    email@domain.com</saml:AttributeValue>
  </saml:Attribute>
</saml:AttributeStatement>
```

- b. SAML アプリケーションをBlueXPに登録するときは、次の値を使用します。
 - *返信URL*または*アサーションコンシューマーサービス (ACS) URL*の場合は、
<https://netapp-cloud-account.auth0.com/login/callback>
 - *ログアウトURL*には、 <https://netapp-cloud-account.auth0.com/logout>
 - *オーディエンス/エンティティID*には、 `urn:auth0:netapp-cloud-account:<fed-domain-name-saml>` `<fed-domain-name-saml>`はフェデレーションに使用するドメイン名です。
例えば、ドメインが `example.com` `オーディエンス/エンティティID`は次のようになります。
`urn:auth0:netapp-cloud-account:fed-example-com-samlp`
 - c. 信頼を作成したら、SAML プロバイダー サーバーから次の値をコピーします。
 - サインインURL
 - サインアウトURL (オプション)
 - d. SAMLプロバイダーサーバーからX.509証明書をダウンロードしてください。証明書はPEM、CER、またはCRT形式である必要があります。
9. BlueXPに戻り、[次へ]を選択して接続を作成します。
 10. SAML を使用して接続を作成します。
 - a. SAML サーバーの サインイン URL を入力します。

- b. SAML プロバイダー サーバーからダウンロードした X.509 証明書をアップロードします。
 - c. 必要に応じて、SAML サーバーの サインアウト URL を入力します。
11. *接続を作成*を選択します。数秒で接続が作成されます。
 12. 「*次へ*」を選択します。
 13. 接続をテストするには、「接続テスト」を選択してください。IdPサーバーのログインページに移動します。IdPの認証情報でログインしてテストを完了し、BlueXPに戻って接続を有効にしてください。
 14. 「*次へ*」を選択します。
 15. *フェデレーションの有効化*ページでフェデレーションの詳細を確認し、*フェデレーションの有効化*を選択します。
 16. プロセスを完了するには、[完了]を選択します。

フェデレーションを有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。

BlueXPでフェデレーションを管理する

BlueXPでフェデレーションを管理できます。フェデレーションを無効化したり、期限切れの資格情報を更新したり、不要になった場合は無効化したりできます。



以前にNetApp Cloud Central (BlueXPの外部アプリケーション) を使用してフェデレーションを構成していた場合は、BlueXP内でフェデレーションを管理できるように、BlueXP Federation ページを使用してフェデレーションをインポートする必要があります。["フェデレーションをインポートする方法を学ぶ"](#)

検証済みのドメインを既存のフェデレーションに追加することもできます。これにより、フェデレーション接続に複数のドメインを使用できるようになります。



フェデレーションの有効化、無効化、更新などのフェデレーション管理イベントがタイムラインに表示されます。["BlueXPでの監視操作の詳細について説明します。"](#)

必要な役割

フェデレーションを作成および管理するには、組織管理者またはフェデレーション管理者が必要です。フェデレーション閲覧者はフェデレーションページを表示できます。["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

フェデレーションを有効にする

フェデレーションを作成したが有効化されていない場合は、BlueXPの「フェデレーション」タブから有効化できます。フェデレーションを有効化すると、フェデレーションに関連付けられたユーザーは、企業の認証情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。有効化する前に、フェデレーションを作成し、正常にテストしておく必要があります。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。

3. アクションメニューを選択  有効にするフェデレーションの横にある  をクリックし、[有効] を選択します。

検証済みのドメインを既存のフェデレーションに追加する

検証済みのドメインをBlueXPの既存のフェデレーションに追加して、同じ ID プロバイダー (IdP) で複数のドメインを使用できます。

フェデレーションに追加するには、BlueXPでドメインを検証しておく必要があります。まだドメインを検証していない場合は、以下の手順に従って検証してください。 ["BlueXPでドメインを認証する"](#)。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. アクションメニューを選択: 検証済みドメインを追加するフェデレーションの横にある  をクリックし、「ドメインの更新」を選択します。「ドメインの更新」ダイアログボックスには、このフェデレーションに既に関連付けられているドメインが一覧表示されます。
4. 利用可能なドメインのリストから検証済みのドメインを選択します。
5. 「* Update *」を選択します。新しいドメインのユーザーがBlueXPにフェデレーション アクセスできるようになるまで、最大 30 秒かかる場合があります。

期限切れのフェデレーション接続の更新

BlueXPでフェデレーションの詳細を更新できます。例えば、証明書やクライアントシークレットなどの資格情報の有効期限が切れた場合は、フェデレーションを更新する必要があります。必要に応じて、通知日を更新して、有効期限が切れる前に接続を更新するよう通知します。



ログインに関する問題を回避するため、IdPを更新する前にBlueXPを更新してください。更新中はBlueXPにログインしたままにしてください。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. 更新するフェデレーションの横にあるアクション メニュー (縦に並んだ 3 つのドット) を選択し、フェデレーションの更新 を選択します。
4. 必要に応じてフェデレーションの詳細を更新します。
5. 「* Update *」を選択します。

既存のフェデレーションをテストする

既存のフェデレーションで問題が発生している場合は、接続をテストして正常に動作しているかどうかを確認できます。これにより、フェデレーションの問題を特定し、トラブルシューティングを行うことができます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .

2. *Federation*タブを選択します。
3. アクションメニューを選択: 検証済みドメインを追加するフェデレーションの横にある をクリックし、[テスト接続] を選択します。
4. *テスト*を選択してください。会社の認証情報でログインするよう求められます。接続に成功すると、BlueXPコンソールにリダイレクトされます。接続に失敗した場合は、フェデレーションに問題があることを示すエラーメッセージが表示されます。
5. *完了*を選択して*連合*タブに戻ります。

フェデレーションを無効にする

フェデレーションが不要になった場合は、無効にすることができます。これにより、フェデレーションに関連付けられたユーザーが企業の認証情報を使用してBlueXPにログインできなくなります。必要に応じて、後でフェデレーションを再度有効にすることができます。

フェデレーションを削除する前に、無効化する必要があります。例えば、別のIdPに切り替えるために現在のIdPを廃止する場合や、フェデレーションを使用しなくなった場合などです。こうすることで、必要に応じて後で再度有効化できます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. アクションメニューを選択: 検証済みドメインを追加するフェデレーションの横にある をクリックし、[無効にする] を選択します。

フェデレーションを削除する

フェデレーションが不要になった場合は、削除できます。これにより、BlueXPからフェデレーションが削除され、フェデレーションに関連付けられているユーザーは、会社の認証情報を使用してBlueXPにログインできなくなります。例えば、IdPが廃止される場合や、フェデレーションが不要になった場合などです。フェデレーションを削除した後は、復元できません。新しいフェデレーションを作成する必要があります。



フェデレーションを削除する前に無効にする必要があります。削除したフェデレーションを元に戻すことはできません。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. アクションメニューを選択: 検証済みドメインを追加するフェデレーションの横にある をクリックし、[削除] を選択します。

BlueXPにフェデレーションをインポートする

以前にNetApp Cloud Central (BlueXPの外部アプリケーション) を介してフェデレーションを設定したことがある場合は、フェデレーション ページで、既存のフェデレーション接続をBlueXPにインポートして新しいインターフェイスで管理するように求められま

す。これにより、フェデレーション接続を再作成することなく、最新の拡張機能を活用できるようになります。

BlueXPへのフェデレーション接続を既に設定済みのお客様は、既存のフェデレーションを新しいインターフェースにインポートできます。これにより、フェデレーション接続を再作成することなく、新しいフェデレーションページで管理できるようになります。



既存のフェデレーションをインポートした後は、フェデレーション ページからフェデレーションを管理できます。 ["フェデレーションの管理について詳しく学びます。"](#)

必要な役割

組織管理者またはフェデレーション管理者。 ["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. *Federation*タブを選択します。
3. *インポートフェデレーション*を選択します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。